

令和7年度



# 幼稚園だより 3月号

文京区立小日向台町幼稚園

## 言葉で伝える・思いをつなぐ

園長 小岩井 聡

園庭の梅の花も満開になり、その横の桜のつぼみも日に日に膨らみ始めた今日この頃。春が近づいてきていることを感じられます。1年が経つのはあっという間だと改めて感じます。

先日、年長児は、こひなた保育園の年長児とともに、小日向台町小学校の1年生との交流を行いました。その時には1年生に、学校生活の一端を体験できるように、ランドセルを背負って、校内を連れて歩いてもらったり、席に座らせてもらって、タブレットに触れさせてもらったり。あるクラスでは、屋上で自分たちが日ごろ楽しんでいる縄跳びやゴム跳びを準備して、体験させてくれました。各学級がそれぞれ工夫を凝らして、また、幼稚園児たちもそれぞれ様々なクラスを回り、小学生のお兄さんお姉さんたちと関わりました。

また、同じ時期に幼稚園では、年長児は逆に教え、伝えていく立場になります。2月の誕生会では、年中児に、誕生会の司会を担当の役割に分かれて、どのようにするかを教え、当日は一緒にやってみるという体験をしました。小学校で教えてもらう立場を味わうとともに、自身が教える立場になることで、言葉でどう伝えるのか、どのように伝えると分かってもらえるのか、こんな経験からも学んでいるのです。

「自分の思いを言葉で伝える、また相手に合わせて、伝え方を考える。」文字で書けば、簡単そうですが、実際に行うことは相手の気持ちを受け止めたり、言葉を選んだり、口調を考えたりと、様々なことを考慮して行っていたと思います。

小学生からの言葉を受け止めて、自身の体験にする力、自分たちが頑張ってきたことを言葉にして伝える力、それがしっかりと子どもたちに育っていると感じられる場面でした。それが、来年度、1年生になったとき、年中児が年長組に進級したときにまた、様々な場面で発揮されていくことと思います。また、修了児が今回も何人かおりましたが、みんな、言葉で分かりやすく伝える力を発揮してくれていて、今の年長児の1年後の姿を想像することもできました。

今月が終わると、新たなスタートがどの子にも待っています。はじめはいろいろな姿が見られるかもしれませんが、でも、少しずつその子が蓄えてきた力をしっかりと発揮してくれるはずです。その姿に出会えることを楽しみにしています。

配信でもお知らせしましたが、保護者の皆様には、幼稚園評価でも高い評価をいただき感謝申し上げます。来年度も教職員一同、常に「子どもまんなか」を意識して教育活動に取り組んでまいりたいと思います。

最後になりますが、今年度も、保護者の皆様、地域の皆様方には本園の教育活動に多大なるご理解とご協力いただきましたこと、御礼申し上げます。ありがとうございました。

